

令和5年度種花事業取組み状況調査結果(区)について

1. 種花事業の取組み状況について(予算及び今後の方向性)

○種花事業の有無

・有 18 区

・無 6 区

＊類似事業の実施 東住吉区: クラインガルテン広場事業

＊地域での実施 大正区: 地域活動協議会への補助金事業として実施

＊他の事業に取り組んでいる 淀川区: 区役所にて花づくり活動を実施

○方向性 (種花事業実施 18 区)

・現状維持 18区

2. 種花事業の実施状況

○花苗の栽培株数 R5実績 271,411 株 (R4実績 296,684 株)

	R5	R4
～10,000 株	6 区	7 区
10,001～20,000 株	8 区	9 区
20,001～30,000 株	1 区	1 区
30,001株以上	2 区	2 区
計	18区	19 区
備 考	天王寺区(R5集計中)・此花区・東淀川区・旭区・大正区・淀川区以外	

3. 花づくり広場の設置状況と活動状況(二次拠点含む)

R5	小・中学校以外	小・中学校	備 考
設 置 箇 所 数 45 カ所	35 ヶ所	10 ヶ所	
一次育成 (種から)	34 ヶ所	9 ヶ所	
二次育成 (苗から)	1 ヶ所	1 ヶ所	
1 か所の区	11 区		
複数箇所以上の区	8区		

出荷回数	R5	R4
1回	0 区	1 区
2 回	14 区	14 区
3 回以上	5 区	4 区
計	19 区	19 区

○花苗の植付場所 R6予定 893ヶ所 (R5実績871ヶ所)

(単位:ヶ所)

	都市 公園	児童 遊園等	道路	小学校	幼稚園 保育所	中学校	社会福祉 施設(※ 1)	その他 公共施設 (※2)
R5 (実績)	165	53	47	107	192	54	149	104
R6 (予 定)	170	58	48	114	188	48	157	115

※1 老人福祉センター、老人憩の家等

※2 区役所、病院、下水道施設他

○花苗の運搬方法

- ・主に地域、配布先等での引取り 6区
- ・基本は地域、一部行政が協力 7区
- ・区役所・公園事務所・ボランティアで運搬 5区
- ・委託業者による運搬 1区

4. ボランティアの人数及び育成の取組

○ボランティアの延べ人数:1,875 人(R4年度調査:1,951 人)

	R5	R4
1 ～ 50 人	6区	5区
51 ～100 人	9区	8区
101人以上	4区	6区
計	19区	19区
備 考	此花区・東淀川区・旭区・大正区・淀川区以外	

○ボランティアの新規加入者人数:97人(R4年度調査:86人)

	R5	R4
0 人	4区	3区
1 ～5人未満	4区	9区
5～10 人未満	9 区	5区
10 人以上	2区	2区
計	19区	19区
備 考	此花区・東淀川区・旭区・大正区・淀川区以外	

○新規ボランティアの募集方法・研修、ボランティア会議、講習会、花づくり広場でのイベントについて

・新規ボランティアの募集方法

- ・区の広報誌、HP、SNS（フェイスブックやツイッター）で新規ボランティアの参加募集を掲載
- ・園芸教室、寄せ植え講習会でのチラシ配布（都島区）
- ・緑化リーダー、ボランティア育成講習会育成講習会（生野区、城東区）
- ・ロコミや友人の誘い等（東住吉区）

・新規ボランティアへの研修について

- ・緑化リーダー～緑化活動紹介編・緑化リーダー育成講座（福島区）
- ・植物の基礎、園芸の基礎知識と実習、寄せ植え教室（中央区）
- ・勉強会による講習（港区）
- ・種まき実習、ポット上げ実習、水やり実習、摘心と花柄摘み講習（西淀川区）
- ・季節の花苗の維持管理（生野区）
- ・緑化リーダー育成講習会に参加（城東区）
- ・区役所及び広場での事業説明・現地紹介、作業時に適宜指導（東住吉区）

・ボランティア会議について

- ・月の連絡調整及び年1回の次年度出荷・育苗計画に係る打合せ等（北区）
- ・1年間の活動振り返りと来年度育てる花苗の決定（都島区）
- ・区緑化リーダー連絡協議会代表者会議、緑花リーダー全体会（福島区）
- ・緑化事業について（中央区）
- ・活動内容や幼稚園での種花事業等の調整、確認、振り返り等（西区）
- ・定例会議（港区）
- ・ボランティア団体（GC含む）、公園事務所、区役所三者間の連絡、伝達事項、課題、現状報告等情報共有（天王寺区）
- ・活動報告、運営呼びかけ、講習会（西淀川区）
- ・花苗の生育状況、作業スケジュールの調整（生野区）
- ・花の種類の検討、作業当番の周知、イベントの周知等（鶴見区）
- ・種まきについて（阿倍野区）
- ・春と秋の栽培計画の協議、進捗、状況の報告等の実施（住吉区）
- ・事業計画・協議事項の立案、実施報告、共有事項の周知確認、緑化におけるミニ講習会（東住吉区）
- ・種まきの種類及び栽培株数の決定、花苗の出荷日時の決定等（平野区）
- ・花づくり広場の生育状況・出荷スケジュールの共有、各花壇の育成状況の情報交換等（西成区）

・講習会について

- ・緑化の基礎知識の講習会を開催し新規ボランティア増につなげる（西区）
- ・「花づくりの基礎」について（天王寺区）
- ・園芸の知識についてDVD利用（西淀川区）

- ・緑花ボランティア育成講習会(生野区)
- ・緑化リーダー育成講習に参加(城東区)
- ・ハンキングバスケットの作成(住之江区)
- ・園芸の関する基礎知識や応用、希望する事項の知識、技術の拡大・習得、時季毎の管理作業や植物管理上の技術習得等必要な場合、事前に実施(東住吉区)
- ・花と緑の講習会(ひふみ号)の講師として起用(平野区)
- ・季節の植物の寄せ植えや植物の楽しみ方、区の緑化活動の紹介や土・肥料・水やり基本(西成区)

・花づくり広場等で行うイベントについて

- ・広場開放デー、園芸教室・ボランティアの寄せ植え(都島区)
- ・花苗プレゼント(福島区)
- ・西区民まつりで、西区緑花会の広報活動、会員募集等を行っている(西区)
- ・花づくり広場の開放(活動の見学)(生野区)
- ・学校花壇への植え付けを児童とボランティアが一緒になって行い、世代間交流を実施(住之江区)
- ・管轄の警察署による交通安全教室を実施(中央区)
- ・木の実や枝などを使ったクラフト作り体験等(住吉区)
- ・クラインガルテンまつり(春・秋)、コケ玉づくり講習会、寄せ植え講習会、やさいづくり体験塾、(春夏・秋冬)収穫体験や園芸教室、講話など(東住吉区)
- ・講習会、区民まつりでの植物を使った手作り体験(毛糸玉)、緑のカーテンの普及のためのアサガオの苗の配布(西成区)

○種花活動での取り組みについて

・ボランティアの負担軽減に関する取り組み

(実施内容)

- ・休憩所等へのエアコンの設置 ・自動灌水装置の設置・土に市販の培養土を利用する
- ・花苗の数量や活動回数の見直し
- ・花友リーダーのスローガン(あわてず、あせらず、ゆっくり、楽しく)を実行している(港区)
- ・熱中症対策としてお茶、冷却スプレー用意、扇風機設置(西淀川区)
- ・暑い時期は午前中に作業を行うようにし、こまめな休憩、水分補給をしている。
- ・水やり当番や作業等、一人の負担を軽減できるように、緑花ボランティア育成講習会受講生については、ボランティア団体の取組みに興味をもつような講習内容を考案し、加入促進を図る取組みをおこなっている。(天王寺区)
- ・連結ポットを使用(住之江区)
- ・自由参加制とし、植物管理の当番制は取っていない ・月2回活動休止日を取っている(東住吉区)
- ・作業場所近くにミストクーラーを設置している(西成区)

・ボランティア活動の周知

- ・区の広報、フェイスブック、エックス（旧ツイッター）、HP、Instagramへの掲載
- ・活動内容を紹介する「種花通信」を年1回発行し、区内の各施設に配布（西区）
- ・出荷時に事業周知の看板を渡し、花苗を植える花壇等に掲示してもらっている（西区）
- ・区民まつりで防犯・種花事業のブースを設け、啓発活動を実施している（港区）
- ・パンフレット、チラシ配布、花苗配布啓発（西淀川区）
- ・ツイッターへの掲載・スタッフ間でのグループライン（任意加入）による活動等の連絡、周知。・月に1回クラインガルテン広場の一般開放を設けている。（東住吉区）

・実施に係る課題

- ・ボランティアの高齢化、固定化、新たな人材の確保が難しい
- ・若年層や男性ボランティアの担い手不足（北区、都島区、福島区、中央区、西区、港区、天王寺区、浪速区、西淀川区、東成区、生野区、城東区、鶴見区、阿倍野区、住之江区、住吉区、東住吉区、平野区、西成区）
- ・自立した運営方法（都島区、中央区、浪速区、西淀川区、阿倍野区、住之江区）
- ・栽培知識、技術のレベルアップ（中央区、浪速区、生野区、東住吉区）、花苗の保管場所（中央区、天王寺区、浪速区、住之江区、東住吉区）
- ・花づくり広場へのアクセスが難しい（中央区、浪速区、西淀川区、生野区）
- ・作業スペースの確保に苦慮している（天王寺区）
- ・ボランティアさんの高齢化により、土こねや花壇の掘り起こし等ができなくなり、担当区職員の負担が大きくなっている。（住之江区）

・独自の取り組み(工夫している点など)

- ・平成26年度から、「北区種花の会」と「北区バラの会」と北区役所との協働により、区内の市立小学校を卒業する児童全員に、さくら草の鉢植えをプレゼントする取り組みを実施している。令和4年度は花の種類を「リナリア」「ロベリア」で実施した。令和5年度も実施予定（品種は苗の育成状況により決定する）。（北区）
- ・年に1回種花ボランティアの反省会を実施し、意見等を来年度に反映できるよう取り組んでいる。
- ・ボランティアの交流を深めるために、ボランティア向けの寄せ植えを年1回開催。・今年度末に新規ボランティアの基礎応用講習会を実施予定。（春播きに向けて）（都島区）
- ・今年度は、広報紙への特集掲載による緑化活動のさらなる周知を行った。（福島区）
- ・年11回開催している緑化会議において、緑化ボランティアや大阪城公園事務所との意思疎通を図り、連携を強化している。（中央区）
- ・花友リーダー養成（3回講座）年1回の取組で、新規ボランティアの募集と、月1回の定例会や勉強会でボランティアの人たちが、やりがいを感じるように取り組みたいことなど、一人一人が意見を言える場をつくっている（港区）
- ・「天王寺区緑花ボランティア育成講習会」の開催（天王寺区）
- ・秋期より試行として多年草を取り入れることで、生育不良時も緑を絶やさないこと、植替え作

業の負担軽減を図る予定。(浪速区)

- ・ボランティアのスキルアップ講習会を実施。
- ・卒業式・入学式に合わせて、ボランティアが講習会で作成したハンギングバスケットを花づくり広場に設置している広場(小学校)に飾りつけを行うなど、地域と小学校との連携をしている。(住之江区)
- 小学校、幼稚園・保育園にて植付け教室を行っている(住吉区)
- ・年2回駒川流域欄干にプランターを設置、花卉の植栽を行い花飾りの実施。・年末年始区役所玄関ホールに迎春用花飾り(寄せ植え)を設置。・残渣・落ち葉等を堆肥化し植物の育成を実施。・やさいづくり体験塾(春夏コース全15回・秋冬コース全11回)をボランティアの指導により実施(東住吉区)
- ・月に一度、ボランティア定例会議を行い、活動の進捗状況等の情報共有する場を設けている。・区役所前に花壇を設置している。(平野区)

・ほかの区確認したい事項(聞きたい)事項

- ・新たな活動の担い手(新規ボランティア)の獲得方法や広報手法。
- ・種花の会 会員に対しての外部講師を活用した講習会の有無(講習を実施した場合は、その講師の手配方法等)(北区)
- ・事業の自立した運営方法(組織作りなども) ・他区の花づくり広場の見学(都島区)
- ・資材や種の取扱業者(下見積もりに対応してもらえる業者が限定されているので、取扱業者の情報があればありがたい)(西区)
- ・ボランティアの参加率の向上方法 ・自立した運営方法(浪速区)
- ・種花物品購入時の契約・入札参加業者。・ボランティアさんの自立方法。・若年層や男性ボランティアの確保方法。・世代交代の方法(住之江区)
- ・花苗配布先としている施設や提供数の基準について(住吉区)
- ・ボランティアの固定化・高齢化対策。・新規ボランティアの発掘・育成・若年層の取込み方法・広報について(東住吉区)
- ・若い世代に継続的に緑化活動に関わってもらえるような取組みの有無(西成区)

・種花事業以外で行っている花と緑に関する独自の取組

- ・園芸教室、・コスモス事業(R5年度限り)(都島区)
- ・共創チャレンジに参加(西区)
- ・八幡屋公園八角花壇の植え付けと管理(港区)
- ・区内幼稚園14箇所の園児対象の花苗植栽実習、区民対象の園芸セミナー(年2回)(西淀川区)
- 令和4年度は、区役所花づくり広場にてボランティア数名で残った種を利用し、区役所のプランター等への植栽用花づくりを実施、今後は不明。(淀川区)
- ・緑のカーテン(住之江区)
- ・当区においては「種花事業」ではなく「クライナガルテン広場事業」として位置づけ、花卉だけでなく野菜の栽培も行い、地域に還元することで花と緑を通じた潤いのあるまちづくりと地域コミュニティの醸成を目的に実施している。(東住吉区)
- ・区の花である綿の苗を栽培し、小学校等で収穫したわたを使ったわたの体験学習等を実施し、河内木

綿の普及啓発を行う。(平野区)

・なにわ筋アドプト花壇事業、津守阿倍野線アドプト花壇事業、ヒートアイランド対策事業、西成区コミュニティ広場維持管理を統合し、緑化推進事業として区内の緑化・美化・イメージアップ推進事業として展開している。(西成区)

・種花事業を行っていない区で、花と緑に関する独自の取組みも実施していない場合、緑化普及啓発事業を実施する必要性がないと考える理由(区役所としての方針・考え方等)をお答えください。

・現在、扇町公園事務所からのご支援及び連携した取組みを行っていただいております、十分補えていると考えるため。(此花区)

・現在、建設局が直営で行っている技術支援等について、当局で委託化の検討を行っているところですが、公園事務所職員の代わりに委託業者が支援を行うことにより想定される課題等があればお答えください。

・公園事務所による技術支援について、市民ボランティアが日常的に相談できる体制で技術支援をいただいている他、市民ボランティアの各種勉強会、区内花壇の育成管理(大江橋パートナーシップ花壇、市役所前花壇、扇町公園内花壇、区役所前花壇)を主体的に実施いただいております。種花事業について、区役所としては、これまで「市民ボランティアの高齢化・担い手不足」や「市民ボランティアと事業実施する難しさ」を感じながらも、なんとか事業を継続してこれたのは、公園事務所職員が技術支援の他に区役所と市民ボランティアの間に入り、協力的な立場で支援いただいたおかげであると考えています。そのような中、公園事務所による種花事業への技術支援が委託化されることで、区役所として種花事業が従来通り継続できるか疑問に感じます。(北区)

・【種花事業】資材購入の相談・種花広場への資材運搬・事業講師と技術指導、資材物品維持管理場所・花苗の運搬・発育状況の相談、事業全体に関わるアドバイス 【緑化サポーター講習会】資材購入の相談・事業講師と技術指導・市民への相談対応。【イベント】資材物品の調達や運搬・市民への相談対応【緑化会議】市民への相談対応。【その他意見】区役所で実施している緑化事業は、公園事務所と連携を図りながら実施しています。委託業者に代わった場合、今まで通りの事業を継続することが困難になると考えるため、事業の撤退を検討する可能性が高くなります。(中央区)

・委託業者になると毎年業者が変わるため、過去の経過等も含めて指導方法など変更される可能性を危惧している。(港区)

・当区では、地域からの急な要請も多く、その要請に対応する為には、日頃から状況等を理解し、対応できる方が必要となります。地域の方から、直接公園事務所に依頼される事も多く、普段からコミュニケーションが必要となる為、その対応が委託業者にできなければ、現在実施しているボランティア活動の取組みができない可能性もあり、そういった事が理由で、事業の縮小、廃止に繋がる事が想定されます。(天王寺区)

・現状、公園事務所の職員と緑化ボランティアとのコミュニケーションがとられていることにより、質の高い支援を受けているが、緑化ボランティアのコミュニケーション不足等による支援の質の低下が懸念される。(城東区)

・グリーンコーディネーターの取組みはどういう扱いになりますか。局事業として引き続き行われるのです

か。・区の実施に対して区ごとに出席等の時間数があらかじめ決められるのですか。それとも、依頼したときに来ていただけるのですか。(阿倍野区)

・きめ細かい技術支援をしてもらえるのか。・どのような事が、技術支援になるのか。(住之江区)

・仕様書の内容によって、支援の融通が利かない(住吉区)

・委託業者での支援を実施した場合、突発的な事項や柔軟な対応がどこまでできるかどうか不明。・公園事務所職員のように細やかな気配りができるかどうか。(東住吉区)